

# ひろまれ念仏

vol.2 (ver3.0)

平成30年 6月 発行  
山中温泉 白鳳凰山 恩栄寺



## ごあいさつ

ジメジメとした梅雨らしい時節ですね。日本だけではなくインドにも「雨季」があります。この時期は、生き物が活発に動く時期でもあるため、不用意に虫たちを殺してしまわないよう、お釈迦さまたちは、雨季を旅しないと決められ、一所で修行されたと言われます。これを「雨安居」といい、日本でも仏教の学びを深める時期として大切にされています。

鬱陶しい時期ではありますが、共に仏さまの教えに出会わせていただきたいものです。

## ◆法要のご案内◆

### 春季永代経法要

#### ●日 時●

6月25日(月) 14時～(お逮夜)  
19時半～★永代経コンサート★  
26日(火) 10時～(お日中)  
14時～(ご満座)

#### ●ご講師

福井県 西宮寺 住職  
みさき れいしょう  
三崎 霊証 師

どうぞお気軽にお参りください。 恩栄寺

月に一度はお寺カレーの日



6月は24日(日)の  
12時からだよ～!  
みんなで食べにきてね♡

子どもはもちろん大人の参加も大歓迎!  
参加費は無料です!

春の永代経  
コンサート 4人の奏者による  
マリンバの魔法

6月25日(月) 午後7時半～

短いお勤めとご法話のあと、  
お寺の音楽会を  
お楽しみください。





前回より始まりました「ゼロ」方です。仏の仏教の基本のキから学んでみようということで、前回は「仏教とは？」というところを書きました。おさらいしておきますと、仏教という言葉には「お釈迦さまによつて説かれた」「私が仏となるための」「真実の教え」という意味があるということでした。

今回は、この仏教の中身、お釈迦さまが目覚められた「真実」とは一体どのようなものであったのかということについて書いてみたいと思います。

「真実」と申ししても、いろいろな側面からとらえることができるのですが、まず基本的な見方として「四諦」というものがあげられます。それは次のような考え

- 私は苦悩の存在である(苦諦)
- それは私が間違った物の見方をしているからである(集諦)
- けれど苦悩を超える境地がある(滅諦)
- それは間違った物の見方を正すことで実現される(道諦)

いかがでしょうか?とてもシンプルなかお釈迦さまが目覚められた「真実」の一つは、この四つの事柄、

「四諦」と呼ばれます。ここにある「諦」という文字は、今では「あきらめる」という意味で使われますが、本来は「明らかに見つめる」という意味で用いられた言葉だ



うです。ですから、この「四諦」というのは、ご自身の在り方、そして私たちの本当の姿をお釈迦さまが明らかに見つめられることで見抜かれた真実です。

しかし一番最初に「私は苦悩を抱えた存在である」とあるように、これはとても厳しい見方をされています。ただ、これがとても大事などころで、この立ち位置に立たない限り、仏教は始まりません。

私は苦悩の存在であると見ることが、仏教のスタートラインになってきます。

次に、その苦悩の原因はどこにあるかが述べられます。それは他ならぬ私にあるとお釈迦さまは見抜かれます。そしてその間違った物の見方こそが、「煩惱」と呼ばれるものです。

そしてその「煩惱」を正しい行いによって調べていくという方法によつて、「煩惱」から離れ、そして苦悩を超えた、心静かな境地、「涅槃」と呼ばれる状態にたどり着くことができる。お釈迦さまはそのようなことに目覚められ、そしてご自身もその苦悩を超えた涅槃の境地に至られました。それによつて、お釈迦さまは「ブツダ」、つまり仏さまとなつていかれました。この仏となるための道のりが、仏道と呼ばれるものなのです。

編集後記

4月、5月と子ども会花まつりから、お寺カレーの日、グランドゴルフ大会など、いろいろな催しが行われました。紙面の関係で小さいですが、写真で雰囲気を感じていただけたら幸いです。お寺カレーの日は毎月行う予定となっておりますので、どなた様もご遠慮なくお越しください!